

☆「動いて、考えて、また動く」

島谷 心捺 (四年二組)

わたしは筆者の考えにきんせいで、また動いて、失敗と成功をくり返していたら、やりたいことができたからです。フィギャアスケートで、わざがこわくてできなかったとき、ただたんにアイススケート場でスパイアルというわざを練習してしました。スパイアルというわざは、ひとつの足ですべり、もうかたほうの足はまっすぐのぼしてこしより上にあがるわざです。でも足を上げようとするとこわいし、くつが重くてあげにくくてできません。だから、考えて家でストレッチすることになりました。少しはできるようになりました。ですが、まだ、完全に上まで足を上げることはできなかったのに、コーチにきいて見ることにしました。そして、コーチは、家でアイスシューズをはいて練習したらどうかと教えてくれました。そこで、コーチがいうとおりにしてみたら、すぐに上手になりました。そのときすごくうれしかったです。

デービスまりこ (四年二組)

「まず動くそして考える」はとてもすばらしい考えだと思えます。わたしは、同じことをけい験したことがあります。この「まず動くそして考える」を使ったら、できないことができ

るようになりました。わたしは、バイオリンをひいているときよくできなかったところが、できるよくなりました。わたしは、「まず動く」もう一回できなかったところをひきました。けれども、またできなかったから、「そして考える」どうやってもっとうまくできるよになるかを考えました。それでいい方法が思いつきました。その方法は、もつとゆっくりひいてスタカートというテクニックを使うということです。その方法を使ったらできるよになりました。わたしは、またこの「まず動くそして考える」をまたわからないうところまで使ってできるようになりたいと思います。

楠本 涼 (四年二組)

ぼくは、「動いて、考えて、また動く」を読んで、またぼくは、フエイントをする時は、腰をひくくせずにして、すぐにボールをとられていました。けれど、腰をひくくしたら、切りかえても深くなり、相手もすつとかわせました。それともう一つくふうしました。それは、相手と勝負をする時に、アウトサイドでボールを持つことです。アウトサイドで持ち、こしをひくくすればあいてをかわしやすくなります。このように工夫すれば、むだなことがなくなり、必要なことだけ使えます。だから、みなさんも工夫して、動いたら、いろいろできます。



森村はると (四年二組)

ぼくは、筆者の「自分にとつて最高のものを実げんするためには、まず動くそして考えることが大切だ。」という意見が「いいな」と思いました。ぼくは、筆者の意見をけい験したことがあります。バスケットボールがフープに入らなかったときでした。ぼくは、「何が、おかしいな」と思いました。そこで、ボールを弱くおしたら、成功しました。なぜそうなったかという、最しよは、ボールを強くおしすぎて、フープの後ろのほうにいったしまいました。弱くおしてみたら、少し前にボールがいつて成功したのだと思いました。

☆作文 (二年三組)

赤石 ゆうと

きょうのゆうがたに、ぼくのおとうとの七五三のしゃしんをとりました。おとうとは、きものをききました。しゃしんは、ぼくのアメリカのおともだちのおかあさんがカメラマンなので、とってもらいました。ぼくもすこしだけしゃしんにはいりました。とてもいいしゃしんがとれてうれしかったです。

竹のうち ゆう花

わたしは、金曜日におねえちゃんか五キロはしるのを見ました。八十でゴールしました。レースのあとおねえちゃんはクッキーをもらってずるいとおもいました。

たき本さすけ

ESLのテストでレベル五になつて、ESLクラスをそつぎようれしかったです。

きた口 りんか

うさぎがきたよ。春になるとうちのわに、ウサギがくるようになりまし。うさぎの大きさは十五センチくらいで、草やとりがこぼしたえさをたべます。わたしは、そのうさぎにびよんびよんと、いもうとは、ホッパという名まえをつけました。いつかはわたしもいっしょにあそびたいとおもいました。

村上正より

土曜日にぼくのおかあさんとおとうさんがおもちややさんにいて、小さいレゴミレニアムファルコンをもらってきてくれました。ミレニアムファルコンは、スターウォーズというえいがにでています。

ながしま じゅりあ

みんなにおしえたいことは、げんち校にぶたがきました。くだものをたべました。ぶたのなきごえは、うるさかったです。でも、たのしかったです。

